

ベトナム北部拠点 VIS 社ハイフォン工場の 圧延ラインが完成し一貫工場化しました

共英製鋼株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 廣富靖以）のベトナム北部拠点ベトナム・イタリー・スチール社（ベトナム フンエン省、代表取締役社長 米村泰宏、以下、VIS 社）のハイフォン工場圧延ラインが完成し、6月3日に竣工式を執り行いました。

竣工式には、ご来賓として伊藤直樹駐ベトナム日本国特命全権大使、ハイフォン市人民委員会ホアン・ミン・クオン副委員長をはじめ、圧延工場の建設を担当したコテコン建設株式会社の関係者、ご愛顧いただいている販売代理店、商社、銀行などの取引先各社から210名超の皆さまにご出席いただきました。式典では、会長の高島より出席者の皆様へ謝辞が述べられました。



テープカットの様子（右から VIS 社米村社長、コテコン建設 Business Unit 2 ティエン社長、弊社社長廣富、伊藤大使、弊社会長高島、ハイフォン市人民委員会クオン副委員長）

VIS 社はフンエン省に圧延工場、ハイフォン市に製鋼工場を保有しており、両工場が約 80km 離れていたため効率的な操業に課題を抱えていましたが、このたびの設備投資によって、製鋼工場敷地内に圧延工場を建設することで製鋼・圧延一貫生産体制が実現されました。また、設備はベトナム国内最速の最大秒速 44m の高速圧延が可能なダニエリ社製を採用し、従来取り組んできたコスト削減と合わせると課題であった競合とのコスト

差が解消され、激しさを増す北部市場においてさらなる競争力の向上が期待されます。VIS 社の年間生産量は、フンエン工場の 30 万トンにハイフォン新工場の 50 万トンが加わり、合計で 80 万トンとなります。当社グループは、1974 年の南ベトナムでの技術指導を皮切りに、ベトナムとの関わりを深めてきました。ドイモイ政策開始後には「日本の戦後復興と同様に、戦後のベトナム復興に貢献したい」という当時の社長・高島浩一の強い想いのもと、1994 年 1 月にベトナム初の日系鉄鋼メーカーとして、ベトナム南部にピナ・キョウエイ・スチール社を設立。2011 年にはキョウエイ・スチール・ベトナム社の設立によりベトナム北部への進出を果たし、2018 年に VIS 社を連結子会社化し事業拡大を図ってきました。

ベトナムに進出して 30 年、これからも当社グループは、鉄鋼事業を通じて地域社会の発展に貢献し、より多くの人々から信頼され愛される企業グループを目指します。



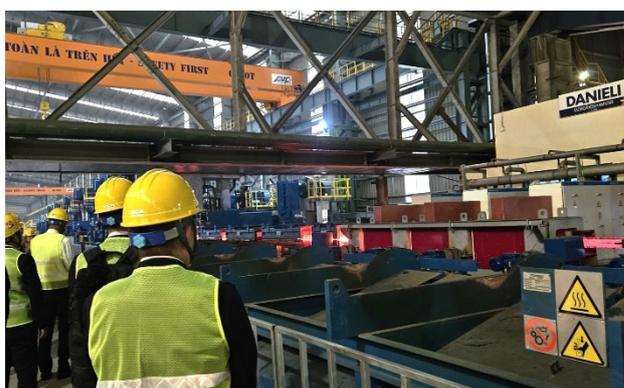
新圧延工場 外観



新圧延ライン



竣工式にて挨拶する高島会長



工場見学の様子